

## 地方創生の“これまで”と“これから”

美波町初のサテライトオフィスが設立されてから6年目を迎えた2018年。  
今年の美波町では下記のような動きがありました。

### 2018年の地方創生関連トピックス

- 株式会社イーツリーズ・ジャパンが日和佐小学校でプログラミングワークショップを実施
- 美波町を舞台にした映画「波乗りオフィスへようこそ」の制作が決定
- コワーキングスペース「ミナミマリンラボ」がオープン
- 韓国放送公社KBSが美波町の地方創生を取材、報道番組にて放映
- TV東京「ロンブー淳のニッポンの優しいまち」でサテライトオフィス企業を紹介
- 桜町商店街に複合施設「at Teramae」がオープン
- 株式会社エリセカンパニー（東京都）が阿部地区にサテライトオフィス開設
- ミナミマリンラボを利用し、株式会社VQSが遠隔塾の実証実験を実施
- 映画「波乗りオフィスへようこそ」約1ヶ月の美波町ロケ実施
- 株式会社兵頭デザインが日和佐小学校でデザインワークショップを実施
- 門前町再生化事業として桜町商店街に「藍庵」がオープン
- IT技術者UIJターン支援サイトにて美波町サテライトオフィス企業特集
- 阿南高専インターンシップ、プロコン開発合宿をサテライトオフィス企業が支援
- 美波町避難訓練にて日和佐地区の一部で、昨年に引き続き減災実証実験を実施
- 日和佐小で、デュアルスクール本年度4例目、5例目、6例目を受け入れ
- 日和佐八幡神社秋祭りでサテライトオフィス関係者（移住者）の地区責任者抜擢（2例目）
- 戎野朗生建築設計事務所（大阪府）が西河内地区にサテライトオフィスを開設
- 株式会社リクルート「2019年トレンド予測」でデュアルスクールがトレンド入り
- サテライトオフィス開設数18社（2018年12月現在）
- まちづくりの新キャッチフレーズ「にぎやかそ」発表

にぎやか  
かそ

にぎやかな  
過疎の町

美波町

映画「波乗りオフィスへようこそ」制作発表というサプライズから始まった美波町の2018年。

5～6月には美波ロケが行われ、その様子はメディアでも大きく取り上げられると同時に、題材となった美波町の地方創生にも注目が集まりました。

一方で美波町の人口はついに7,000人を切り、また65歳以上の方の割合が45%を超えるなど、少子高齢化や若年層を中心とした人口流出が深刻な事態となっています。

「美波町はどうなっていくのか」そんな不安がよぎりますが、だからこそ映画が運んでくれたこのチャンス、せっかくの盛り上がりを活かしていかなければなりません。

12月1日に発表された「にぎやかそ」は、まさにこれらのチャンスを活かし、今後のまちづくりにつなげていくという決意のフレーズでもあります。

制作：美波ふるさと創造広報チーム

